

■訂正 5月9日号21ページ、「子宮頸がん予防ワクチン―接種は不要」と考える親で安全性に対する懸念強まる」の記事中で「HPVワクチンでは2008年の22.4%から2010年には21.0%にそれぞれ低下した」と記載しましたが、正しくは「HPVワクチンでは2008年の83.8%から2010年には75.2%にそれぞれ低下した」でした。おわびして訂正します。